

ふれあい情報

速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
 ■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
 ■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 Tel:03-5295-0507 Fax:03-5295-0541
 <e-mail>taisyo Kusharengo@sv.rengo-net.or.jp
 <ホームページ>http://tr.jtuc-rengo.jp

2015年 1月23日(金) **第194号**

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

社会保障制度の充実、組織拡大へ決意新たに

退職者連合 2015 新春のつどい

阿部会長あいさつ(要旨)
 謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、日頃のご指導・ご支援に深く感謝申し上げます。

本年は戦後70年の節目の年にあたります。1945年敗戦を迎えた国民は、戦後の混乱と貧しい暮らしに耐えながら、新憲法のもと平和国家として経済成長を遂げてきました。しかし、70年後の今日安倍政権の継続により、平和と民主主義は後退し憲法改悪が危惧されています。安倍首相が強調する新たな安全保障法制は、国民の命と暮らしを脅かす集団的自衛権行使の法制化であり到底容認することはできません。

また、安倍政権の成長戦略は格差拡大の危険な道であり、非正規労働者は2000万人にも及び、やがて無年金・低年金の生活困窮高齢者を増大させることとなります。社会保障においても介護報酬の減額、年金・医療・介護の給付削減と負担増を強めようとしています。退職者連合は組織の拡充を図り、連合と提携し雇用と社会保障の充実、東日本大震災の早期の復興・再生に向け決意新たに取り組みます。

退職者連合は1月20日(火)午後5時から、連合や政党関係者、労働福祉事業団体など組織内外から110人を招き、結成以来初となる「退職者連合 2015 新春のつどい」を連合会館3階で開きました。主催者あいさつで阿部保吉会長は「連合と連携して平和や民主主義を守り、社会保障制度の充実や組織拡大への取り組みを強化していきたい」と年頭にあったての決意を述べました。(写真)

15年新春の 退職者連合



新春のつどいには、退職者連合の役員、会計監査、地方退職者連合関係者、中央本部役員、事務局をはじめ、連合本部役員、民主党・社民党、中央労福協・

労金協会・全労済、連合会館などの関係者が多数参加。連合や政党、労働福祉事業団体の各代表の方から祝辞を受けました。(写真下)

あいさつをいただいたご来賓のみなさん



全労済
生澤千裕
常務執行役員



労金協会
安藤栄二
常務理事



中央労福協
山本幸司
副会長



社民党
吉田忠智
党首



民主党
福山哲郎
幹事長代理



連合
神津里季生
事務局長

第3回幹事会

政策・制度要求運動を新たに組み立て

「年度要求」に加えて「季節要求」つくる



▲役員・幹事 35人が出席した第3回幹事会。(1月20日、連合本部)

通常国会への効果的対応が可能に

吉沢副会長に交代

退職者連合は、一月二〇日午後三時から連合会館三階で二〇一四年度第三回幹事会を開きました。会議では、毎年定期総会で決めている政策・制度要求について従来の「年度要求」に加えて新たに「季節要求」を策定することを決めました。また組織強化委員会(規約改定等検討会議)から退職者連合規約改定素案の報告を受け、二月一七日に開催する全国事務局長会議に向け、広く組織内討議をすすめることなどを確認しました。なお、幹事会の前に、特殊詐欺撲滅に向けた学習会も行いました(別掲)。

幹事会では、自治選出の福田利久氏から同吉沢弘久氏への副会長交代を承認。また退職者連合の会計業務担当役員を野田那智子次長に変更することなどを確認しました。

「年度要求」と「季節要求」

連合の政策・制度要求については、これまで、その年度の要求を七月の定期総会で決定し、

それにもとづき中央・地方で運動を行ってきました。しかしその場合、要求内容の検討・策案

は三〜五月とならざるを得ず、それら関係する課題は、一月から召集される通常国会で法案として審議されるものが多く、七月の総会決定では事実上対応遅れになるものも少なくありません。そうしたことから、関係の法案審議にかかる通常国会等に可能な限り効果的に対応するため、政策・制度要求の策定ならびに運動の組み立てについて、改めることとしました。

季節要求は幹事会で決定

具体的には退職者連合の政策・制度要求を七月の定期総会で決定する「年度要求」と通常国会に提案される法案に向けた「季節要求」とに分けて策定することとしました。この日の幹事会では、当面する政策・制度要求(季節要求)を決め、直ちに運動展開することを確認しました。

<第3回幹事会議題>

I. 承認事項

1. 副会長の交代について
2. 会計業務担当役員の変更について

II. 報告事項

1. 事務局の業務分担の一部変更について
2. 特定秘密保護法施行にあたっての声明
3. 第5回、第6回組織強化委員会・規約等検討委員会の開催について
4. 政策関係専門委員長打ち合わせについて
5. 中央・地方・ブロック総会・学習会等派遣について
6. 第5回役員選考委員会の開催について
7. 衆議院選挙権ビラ(為書き)の送付について
8. ふれあい情報の発行について
9. 教育文化協会主催「幸せさがし文化展」について
10. 連合、その他の集会・会議等について

III. 協議事項

1. 専門委員会委員の交代について
2. 政策・制度要求運動の新たな組み立てについて
3. 当面する政策・制度要求(季節要求)について
4. 全国事務局長会議の開催について
5. 重点政策要求実現院内集会(仮称)の開催について
6. 定期総会の開催時間、ならびに全国組織代表者会議の開催日の変更について
7. 第5回幹事会・第11回常任幹事会の開催場所の変更について

特殊詐欺根絶に向けて勉強会

振り込め詐欺被害 私はだまされない!

詐欺の元締めは暴力団

今、お年寄りの年金や預金を食いものにする振り込め詐欺やオレオレ詐欺、還付金詐欺などの「特殊詐欺」犯罪が大きな社会問題となっています。この特殊詐欺の元締めは、暴力団。こうした反社会的勢力の効率的で安全な資金活動となっています。

なんと1日14億円の被害

警察庁によると昨年の被害額は全国で500億円にのぼり、1日当たり約14億円がだまし取られていることになりました。

警視庁では、副警視総監を本部長とする「犯罪抑止対策本部」が中心となり、犯罪が多発している都内での「特殊詐欺」を根絶するため、一昨年秋「特殊詐欺根絶アクションプログラム・東京」を設置し、企業や団体に参加を呼びかけました。

退職者連合も「アクションプログラム・東京」に参加し、高齢者、年金生活者を狙った特殊詐欺根絶に連携してきました。この取り組みを強化するため、1月20日の幹事会前段に1時間にわたり警視庁犯罪抑止対策本部の滝澤依子副本部長(警視長)を講師に「特殊詐欺根絶に向けて」と題して勉強会を開きました。

オレオレから還付金詐欺へ

顔を合わせないで電話による

銀行振り込み型のオレオレ詐欺から今は「未公開株が買えるから手付金を払ってほしい」「医療費が戻ってくる」という還付金詐欺などが多い。

振り込み詐欺は、2000年頃頃からオレオレ詐欺といわれる手口で始まり、2009年頃には減少傾向だったものの最近はまだ増えてきている。全国的には東京が最も多い。

狙われるお母さん、おばあちゃん

被害者の8割が60歳以上の女性高齢者であり「お母さん、おばあちゃん」に集中しています。詐欺の手口は、親心を巧みに使った「アタリマエの原理」を活用し、無意識に「親心スイッチ」が入るといいます。親世代が子や孫に抱く深い愛情を利用した極めて卑劣なもので、長年の苦勞の末に蓄えた老後資金がその親心ゆえに喰い物にされています。

集団詐欺の犯罪がやまないのは、犯人グループが巧妙になっていると指摘。滝澤氏は、被害に合わないために留守電にすることや「携帯をなくした」との電話には元の電話をかけてみる、などの注意を促しました。

参加者からの「電話被害に合うのは名簿があるのか。諸外国ではどうなのか」との質問に滝澤氏は「以前はタウンページなど電話帳を使っていたようだ



▲特殊詐欺根絶に向けて講演する滝澤副本部長。(1月20日、連合会館)

が、同窓会名簿なども使っているようだ。韓国や米国に少し事例があるが、金額も日本ほど高くなく、社会問題化する傾向ではない」と答えました。

最後に滝澤副本部長は、特殊詐欺撲滅に向けて防止を呼び掛けました。

特殊詐欺の被害を根絶するためには、会員一人ひとりが犯罪に強い「免疫力」=正しい問題解決行動を選択できる力をつけることです。そのためには退職者連合ホームページをぜひ活用してください。警察庁のHPIにつながります。

「母さん助けて」詐欺にご注意を!

“親心”につけこむ
特殊サギの被害が
増えています。
悪党があなたを狙っています。



退職者連合

検索



退職者連合規約の改正素案まとまる

組織強化委員会が幹事会に報告

今回の改正の大きなポイントは、地域活動の強化と退職者連合の組織体制、機構の整備と改革の二つです。新設したものは、①オブザーバー参加 ②地域・地区組織の設置 ③個人加入 ④全国事務局長会議の設置 ⑤地方代表者会議の設置 ⑥表彰です。組織・機構改革の目玉は、退職者連合本部幹事会

幹事会には、和田委員長が報告。「素案を全組織に配布するので、広くご討議をお願いしたい。ご意見・要望は、二月一七日に開催予定の全国事務局長会議でいただくことにしたい」と述べ、了承されました。なお、素案は、翌二一日全組織にメールで配信しました。

素案を全組織に配布、討議期待

退職者連合規約の改定に向けて昨年八月以来、検討を続けてきた組織強化委員会・規約等改定検討会議(和田正委員長)は、一月二〇日午前一〇時から連合本部三階会議室で第六回検討会議を開き、規約改正素案をまとめ、同日午後開かれた第三回幹事会に報告しました。

地域活動、組織体制・機構の整備と改革へ



▲1月20日、連合本部会議室で開かれた退職者連合第6回組織強化委員会・規約等改訂検討会議。右から3人目が和田委員長。

への九地方ブロック代表の参加です。また地方ブロック協議会の運営および組織強化も打ち出しました。

退職者連合では、組織・運動方針で、会員の暮らしの場である地域・地区での活動強化を明らかにしており、規約改正によってこの取り組みをさらに一歩踏み出すことをねらいとしています。

退職者連合 当面の会議・集会等のご案内

第19回定期総会

- 日時 2015年7月15日(水)
(時間:10:00~14:00)
- 会場 連合会館2階大会議室
東京都千代田区
神田駿河台3-2-11
Tel 03-5295-0507

組織代表者会議

- 日時 2015年7月14日(火)
(時間:13:30~)
- 会場 連合本部3階AB会議室
- 参加 中央・地方退職者組織の代表者

重点政策要求実現 2.18 院内集会

- 日時 2015年2月18日(水)
(時間:10:00~11:45)
- 会場 参議院議員会館・講堂 (1F)
- 規模 270人
- 参加 中央退職者組織
地方退職者連合(東京、神奈川、千葉、埼玉)
- 内容 第189国会における年金、医療・介護等の重点政策への要求実現をせまる。

全国事務局長会議

- 日時 2015年2月17日(火)
(時間:13:00~17:00)
- 会場 ホテル・ラングウッド
東京都荒川区東日暮里
5-50-5
Tel 03-3803-1335
- 参加 中央・地方退職者組織の事務局長
- 内容 ①組織の強化・拡大について
②当面する主要な政策・制度課題への取り組みについて